

デリカ D:5 サンルーフ付車専用 ALPINEリアビジョン用 取付説明書

構成部品



ブラケットA



ブラケットB



M6ボルト&ワッシャー



グロメット



M5X10タッピングビス



皿ビスM4X8



スペーサー



ルームランプ用赤タップ



ルームランプリレー

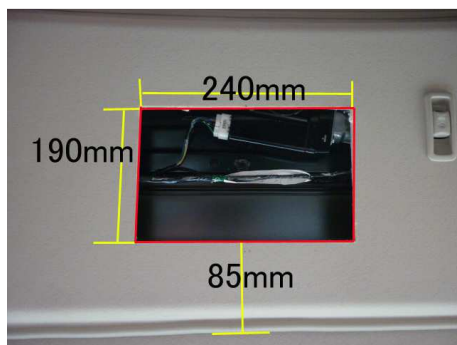
取付要領説明

- (写真①)モニターはフロントサンルーフとセカンドサンルーフの間に取付します。
- (写真②)カット位置は、フロントサンルーフから車両後方へ85mmの所に、車両センターから幅240mmX前後長さ190mmでカットします。天井内に車両ハーネスが通っていますので、損傷しないようご注意ください。
PCXシリーズの取付は追加補足の説明書に従い必ず開口部を広げてください。
(広げなければプラズマクラスターファンの吸気口がふさがれ、モニターが破損します。)
- (写真③)カット部から中を覗いた所です。車両フレームがあり、左右にメスネジが見えます。(この写真は助手席側です。)
- (写真④)この左右のメスネジに付属のM6ボルトを3周ほど仮止めします。
このとき固定されてる車両配線が邪魔になりますので一度外してください。(この写真は運転席側です。)
- (写真⑤)ブラケットAをスライドするようにはめ込み本締めします。コの字型の方が助手席側です。
- (写真⑥)ブラケットAを取付した状態です。写真下側が車両前方です。向きにご確認ください。配線を元に戻してください。
- (写真⑦)フロントサンルーフのモールを外し、車両後方側を少し広げると車両フレームがありそのフレームに■穴があるのが見えます。
- (写真⑧)この■穴にグロメットを差し込みます。左右2箇所です。
- (写真⑨)ブラケットBをこの隙間から差込みます。ブラケットの向きにご確認ください。ネジ穴がテーパになっている方が下側です。
- (写真⑩)ブラケットAとブラケットBを皿ビスM4X8で固定します。
- (写真⑪)グロメット部はM5X10タッピングで固定します。
- (写真⑫)リアビジョン本体裏にビス穴にあわせてスペーサーをセロテープで貼り付けます。
- (写真⑬)リアビジョン本体をモニターに付属のボルト4本で取付します。(リアビジョン中央のボルト穴は使用しません。)

取付概要写真



写真①



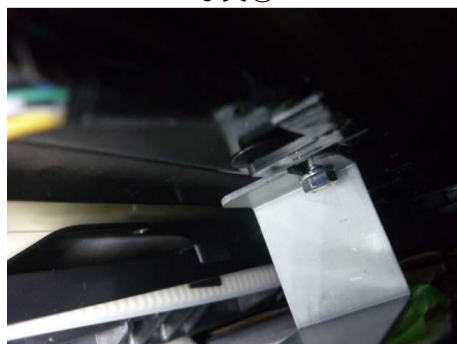
写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



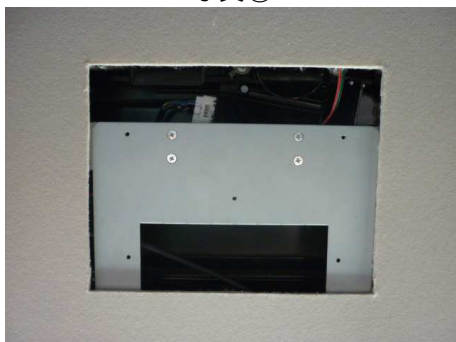
写真⑦



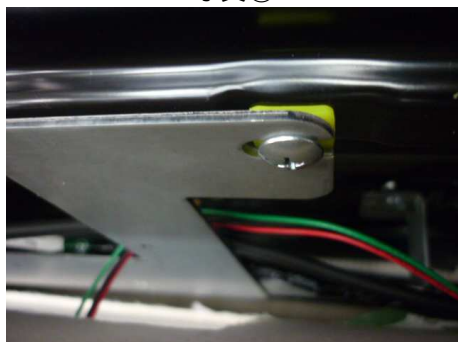
写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

リアビジョンルームランプコードの接続

リアビジョンのルームランプコードを接続します。

必ず付属のルームランプリレーを使用して、下記の指示とおりに接続してください。記載箇所以外で接続すると、バッテリー上がりや、異常点灯します。ご注意ください。

1. ルームランプリレーから出ている端子の付いていない方の線を接続します。

ルームランプリレー 赤(3m)	→ 車両側(常時電源)	オーディオ裏電源コネクタ	赤/青
ルームランプリレー 緑(30cm)	→ 車輛側(ドアコントロール線)	フロントルームランプ裏コネクタ	黄
ルームランプリレー 黒(30cm)	→ 車両側(アース)	フロントルームランプ裏コネクタ	黒

年式・グレードによって車両ハーネス線の色が異なる場合がありますので必ずテスターで確認して下さい。簡易作業用の赤タップを同梱させて頂いてますが、配線の太さ、作業不良により、接触不良など発生する場合がございます。

「お互いの配線を露出させ巻きつける」「ハンダ接続する」などの作業をおすすめします。

この場合は配線ショートしないように必ずビニールテープなどで絶縁してください。

モニター付属のルームランプコードとルームランプリレーから出ている端子の付いてる方の線を接続します。

モニター付属のルームランプコードは適当な長さにカットし、KIT付属の端子を使用して接続してください。